

## 1.診療科紹介（専攻医・後期研修医向け）

項目	内容
① 診療科名	膠原病内科・リウマチ科
② 診療科の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リウマチ性疾患を専門とする東海地区では数少ない内科系診療科で、リウマチ専門医数は8名と数多く在籍。</li> <li>・膠原病は全身性疾患のため、総合病院の特色を生かし、各専門科と密に連携をしながら診療を行っています</li> <li>・早期から関節エコーを導入しており、リウマチ性疾患の診断・鑑別に役立っています。</li> <li>・難治症例に対しては分子標的薬を積極的に導入しており、治験にも数多く参加して最先端の治療にも積極的に関与しています。</li> </ul>
③ 診療科のモットー	患者さんに最新・最良の医療を提供できるように努めています。
④ 診療内容・実績 (2019年4月時点)	平成30年度の外来患者数は1403名、入院患者数は439名で、入院時の主な疾患では関節リウマチ71名、血管炎症候群43名、SLE40名、多発性筋炎／皮膚筋炎33名、強皮症19名、ベーチェット病16名となっています。
⑤ 診療体制	常勤医8名、非常勤医1名、専修医1名。(リウマチ専門医8名、総合内科専門医3名、臨床研修指導医4名)
⑥ 診療科カンファレンス	週2回診療科カンファレンスと隔週での抄読会 腎臓内科との合同カンファレンス(週1回) 整形外科との合同カンファレンス(不定期)
⑦ 経験できる疾患	関節リウマチ、強直性脊椎炎、ベーチェット病、SLE、強皮症、皮膚筋炎/多発性筋炎、血管炎、シェーグレン症候群、IgG4関連疾患等すべての膠原病が対象となります。
⑧ 経験できる技術・技能	関節エコー、関節穿刺 内科の手技全般
⑨ 学会について	日本リウマチ学会認定教育施設
⑩ その他	・女性医師も多く在籍し、ライフプランに合わせた研修が可能です。

## 2.専門研修プログラムに準拠しない形での採用の場合

項目	内容
① 取得可能な専門医	リウマチ専門医
② その他	

## 3.指導責任者より専攻医・後期研修医へメッセージ

“膠原病”と聞いてどのようなイメージを持ちますか？

「稀な病気」「診断が難しい」「抗体がいっぱい…」「治らない？」

少しとっつきにくい印象があるかもしれません。しかし入り口の主訴は非常にありふれたもので(発熱、倦怠感、関節痛、皮疹、息切れ、咳、手足のしびれ…)、将来何科にすすむとしても鑑別に挙がる疾患群です。この関節は腫れているのかいないのか？この紫斑は血管炎らしいのかそうでないのか？この不明熱は膠原病らしいか？この抗核抗体陽性は意味があるのか？…後期研修の大切な時期にこうした臨床的疑問への対応を経験することは、必ずや内科医としての今後の診療に厚みをもたせてくれることと思います。

またステロイドやその他の免疫抑制剤、生物学的製剤など、実際に試してみることでわかる治療薬の知識とともに

に、免疫抑制下での感染症など合併症との戦い方も経験します。

東海地方で膠原病を学ぶことのできる施設は多くありません。中でも“各専門科のそろった市中病院”という環境は非常に限られています。重要臓器病変（中枢神経、心血管、肺、腸管、腎など）を合併する重症の膠原病患者さんの診療においては各専門科とも連携も欠かせません。当院は他科とのコンサルトの垣根が低く、必要時は各科と協同することでおおむねすべての症例に対応可能です。

当科ではフレッシュな若者から経験豊富なベテランまで幅広い層のスタッフがアットホームな雰囲気です。膠原病の知識だけでなく、当院で後期研修を始める先生方を様々な場面でサポートできると思います。膠原病を一度は専門的な見地から学んでみたいという先生、いっしょに勉強しましょう。お待ちしております。

## 膠原病内科専修医・後期研修医募集

国立病院機構名古屋医療センター膠原病内科

[リウマチ・膠原病専門医を目指す先生方、膠原病内科での後期研修を希望される先生方はお気軽にお尋ねください。](#)

### 膠原病内科の経験目標症例数

主要疾患	経験目標症例数（3年間）
全身性エリテマトーデス	40
関節リウマチ	100
強皮症	30
多発性筋炎・皮膚筋炎	30
結節性多発動脈炎・血管炎症候群	30
混合性結合組織病	20
側頭動脈炎	10
リウマチ性多発筋痛症	20
成人スティル病	10
乾癬性関節炎	5
強直性脊椎炎	5
不明熱	30
シェーグレン症候群・IgG4関連疾患	30
膠原病性肺高血圧症	5
抗リン脂質抗体症候群	10
血球貪食症候群	10

腰椎穿刺	10
胸腔穿刺	10
関節穿刺	10
血漿交換療法	10
生物学的製剤投与・管理	20
関節エコー	20

診療体制やスタッフ・診療実績などはホームページをご覧ください。

（「名古屋 膠原病」で検索できます）